

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 28年12月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	・「慣れ」からか近い人に使うような言葉が目立ってきている。	・入居者と職員の関係を再確認し、尊厳を以て処遇にあたることができる。	・認知症の理解を深める。 ・ロールプレイを通し自己覚知を図る。 ・職員としてのスタンスを指導する。 ・その場で指摘を行うことで意識改革を図る。	12か月
2	10	・アンケート結果を踏まえ、ご家族と協同・共通認識を深める。	・本人らしく生活できる環境を整える事ができる。	・文書・電話等による情報の伝達を図る。 ・ご家族が参加できる行事を増やし施設の様子を見ていただく機会を作る。	12か月
3	34	・現段階での安定した状況がこれからも続く。という感覚で業務が進められているため、有事の際に適切な対応ができるかが問題。	・常に変化を予測した業務また対応ができる。	・入居者の今後予測できる急変を書き出すことで緊張感を持つことができる。 ・ロールプレイを実施し、各自が持っている危機管理レベルを同一レベルまで上げる。 ・マニュアルの整備。	12か月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。